

## 平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社リサ・パートナーズ 上場取引所 東証一部  
 コード番号 8924 URL <http://www.risa-p.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井無田 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 石館 幸治 TEL (03) 5573-8011

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績 (平成20年1月1日 ~ 平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第3四半期	20,492	23.9	7,215	24.2	5,505	12.9	4,099	31.3
19年12月期第3四半期	16,540	55.3	5,810	74.3	4,877	97.5	3,123	115.3
19年12月期	27,441	—	11,928	—	10,595	—	6,659	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第3四半期	14,111	31	13,873	88
19年12月期第3四半期	11,376	77	10,262	26
19年12月期	24,141	19	21,773	90

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年12月期第3四半期	151,898		44,597		20.8		108,206	55
19年12月期第3四半期	111,219		27,632		21.7		86,407	09
19年12月期	119,000		37,394		23.2		98,431	04

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第3四半期	△23,362		△18,814		31,444		7,100	
19年12月期第3四半期	△963		△17,003		26,647		17,390	
19年12月期	3,225		△24,501		30,397		17,833	

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
19年12月期	—	—	—	—	—	—	1,800	00	1,800	00
20年12月期(実績)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	1,500	00	1,500	00

3. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成20年1月1日 ~ 平成20年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	28,200	2.8	8,520	△28.6	5,980	△43.6	4,010	△39.8	13,779	85

※ なお、上記の業績予想においては、販売用不動産に対する低価法の早期適用を前提としています。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。上記の業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

①事業全般の概況

当第3四半期（平成20年1月1日～平成20年9月30日）における我が国経済は、世界的に広がった金融市場の混乱が続く中、景気の減速感が強まりました。企業の業況判断も一段と慎重さが増しており、設備投資は弱含んでいます。個人消費は、おおむね横ばいとなつてはいるものの、消費者マインドは悪化の傾向にあり、株価の下落による逆資産効果など、予断を許さない環境にあると言えます。

当社グループの事業領域である金融市場におきましては、欧米市場の金融危機が深刻化し、邦銀の存在感が相対的に増す一方で、世界的に広がった急激な金融収縮により、本来の金融市場が完全には機能していない状態が続いています。また、もう一つの当社の事業領域である不動産市場においては、金融機関による不動産融資に対する姿勢が一層厳しくなる中で、買い手に対する資金供給が抑制されることによる需給バランスの悪化が起きており、その結果、不動産市場全体の取引が停滞しています。

このような事業環境の中、当社は、プリンシパル投資事業、ファンド事業、インベストメントバンキング事業の3つのセグメントで事業を展開してまいりました。3つのセグメントのうちのファンド事業については、企業投資ファンドや地域企業再生ファンドが順調に拡大しましたが、大中型不動産共同投資で投資の出口の遅れが見られます。一方で、プリンシパル投資事業とインベストメントバンキング事業については、順調に業績を伸ばすことが出来ました。財務面においては、コミットメントラインの拡充を図ることで、金融機関からの資金調達枠を拡大し、当社グループの投資機会に対して、より機動的な資金調達が可能となりました。地方銀行や信託銀行の新規取引が増加したことで、当第3四半期末における取引金融機関数は80行に迫り、金融機関との良好な融資取引関係を維持しております。

これらの結果、当第3四半期の売上高は20,492百万円（前年同期比23.9%増）、営業利益は7,215百万円（前年同期比24.2%増）、経常利益は5,505百万円（前年同期比12.9%増）、純利益は4,099百万円（前年同期比31.3%増）と増収・増益を達成することができました。

②セグメント毎の概況

（プリンシパル投資事業）

プリンシパル投資事業では、企業（株式）、貸付債権、不動産に対して、自己勘定による投資を行っております。

企業（株式）投資では、既存の投資先からの事業収益が計上されたことに加え、平成20年6月に取得した「ホテルJALシティ那覇」からの事業収益が計上されました。「ホテルJALシティ那覇」は、沖縄の国際通りの中心地という立地面や、ブランド面での競争優位性があり、稼働率も高い水準で推移していることから、今後の安定した収益獲得が期待できます。債権投資では、金融機関から購入した貸付債権の回収が引き続き順調に進捗し、安定的に収益を生みました。また、メガバンク、政府系、地域金融機関など各業態から、定期的に貸付債権の売却が持ち込まれ、新たな貸付債権の買取りも実施しました。不動産投資におきましては、当初の予定通り、物件から安定的に得られる賃料を中心に順調に収益を積み上げた一方で、価格目線の合う買い手が現れた場合には物件売却も進め、売却益も確保しました。また、不動産融資の信用収縮により取引価格の下がった収益物件については、優良資産積上げのチャンスと捉え、継続して投資を進めております。

これらの結果、当第3四半期におけるプリンシパル投資事業の売上高は14,868百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益4,914百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

（ファンド事業）

ファンド事業では、企業投資ファンド（株式投資を中心に全国規模で展開）、地域企業再生ファンド（債権投資を中心に各地域で展開）、不動産共同投資プログラム（大中型不動産に限定し全国規模で展開）について、運営業務を受託しております。運営に対して一定の管理報酬を獲得しており、当第3四半期においても、安定的に収益が確保できました。また、自らも一部投資に参加しており、将来の投資リターンも狙っています。

全国規模で展開する企業投資ファンドの「リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド」については、平成18年9月の運営開始後、投資コミット総額が218.5億円に達しましたが、その後の投資活動が順調に進み、平成20年4月をもって、コミット総額のほぼ全額の投資が完了しました。平成20年7月には2号ファンドが組成され、同年8月に新規の投資を1件実行しています。1号ファンドと2号ファンドの累計で、投資件数は10件に達しました。地域企業再生ファンドは、全国の地域金融機関と連携して取り組んでいます。平成20年3月に、七十七銀行と「七十七事業再生ファンド」を立ち上げるとともに、岐阜県において中小企業基盤整備機構と「ぎふ中小企業支援ファンド」を立ち上げるなど、引き続き順調に拡大しています。不動産共同投資プログラムでは、グローブ・インターナショナル・パートナーズと共同で大中型不動産への投資を展開してまいりました。投資済み物件に係るアセットマネジメントフィーについては、当初の予定通り安定収益として確保できたものの、最近の不動産市場の停滞を受けて投資物件の出口が遅れており、成功報酬や投資回収益が前年同期比で90%以上減少しました。

これらの結果、売上高1,806百万円（前年同期比25.9%減）、営業利益1,155百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

（インベストメントバンキング事業）

インベストメントバンキング事業では、M&A等のファイナンシャル・アドバイザー業務や企業再生支援業務、サービシング業務（債権管理回収）、デューデリジェンス業務を手掛けるとともに、これら金融や不動産に関わる投資やアドバイザー業務のノウハウを統合的に活用したコーポレート・ソリューション業務を手掛けております。

当第3四半期においては、ファイナンシャル・アドバイザー業務や企業再生支援業務を行う連結子会社のフロンティア・マネジメント株式会社が順調に成長したこと、また、財務再構築および海外資産圧縮に関わる大型アドバイザー案件の成約があったことから、売上高4,540百万円（前年同期比36.1%増）、営業利益3,482百万円（前年同期比121.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32,898百万円増加し、151,898百万円となりました。これは主に直接またはファンドを通じて購入した販売用不動産が21,710百万円増加したこと、エクイティ投資の拡大により投資有価証券が7,645百万円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ25,695百万円増加し、107,300百万円となりました。これは主に債権及び不動産の取得資金として長期借入金が29,944百万円増加したことによるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は税金等調整前四半期純利益を6,344百万円計上し、また長期借入による資金調達をおこないましたが、販売用不動産、有形固定資産、関係会社株式、投資有価証券の取得による支出等に伴い、前連結会計年度末に比べ10,732百万円減少し7,100百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は23,362百万円（前年同期比2,325.96%増）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益6,344百万円があったものの、販売用不動産の取得20,239百万円や法人税等の支払5,823百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18,814百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出8,796百万円や、ソリューション・ファンドの投資の実行によって関係会社株式の取得が6,036百万円あったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は31,444百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

これは主に長期借入金の純増33,250百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成20年10月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	17,447	7,130	△10,317	△59.1	17,877
2. 受取手形及び 売掛金	1,083	2,386	1,302	120.2	1,799
3. たな卸資産	15,215	37,104	21,888	143.8	15,394
4. 買取債権	37,916	39,040	1,123	3.0	35,719
5. 繰延税金資産	248	503	255	102.6	436
6. その他	2,835	6,953	4,117	145.2	2,457
貸倒引当金	△28	△596	△567	1,968.5	△590
流動資産合計	74,719	92,521	17,801	23.8	73,094
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築 物	4,686	8,426	3,740	79.8	3,123
2. 土地	6,402	6,508	105	1.7	5,827
3. その他	470	481	10	2.3	517
有形固定資産 合計	11,558	15,416	3,857	33.4	9,469
(2) 無形固定資産					
1. ソフトウェア	163	140	△22	△14.0	154
2. のれん	307	132	△174	△56.7	279
3. その他	40	43	3	7.5	45
無形固定資産 合計	510	316	△194	△38.0	479
(3) 投資その他の 資産					
1. 投資有価証券	21,503	39,767	18,264	84.9	32,122
2. 長期貸付金	1,712	2,252	540	31.5	2,317
3. 繰延税金資産	269	636	367	136.5	807
4. その他	944	1,231	287	30.4	955
貸倒引当金	—	△245	△245	—	△245
投資その他の 資産合計	24,429	43,643	19,214	78.7	35,957
固定資産合計	36,499	59,376	22,876	62.7	45,905
資産合計	111,219	151,898	40,678	36.6	119,000

科目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年12月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び 買掛金	58	89	30	52.1	87
2. 短期借入金	29,082	28,892	△189	△0.7	30,003
3. 未払法人税等	1,190	548	△641	△53.9	3,557
4. 賞与引当金	316	519	202	64.1	85
5. その他	3,402	3,046	△355	△10.5	3,276
流動負債合計	34,050	33,096	△953	△2.8	37,010
II 固定負債					
1. 社債	14,789	14,618	△170	△1.2	14,789
2. 長期借入金	34,100	59,101	25,000	73.3	29,157
3. 退職給付引当金	3	2	△1	△38.2	3
4. その他	642	481	△161	△25.1	645
固定負債合計	49,536	74,203	24,667	49.8	44,595
負債合計	83,587	107,300	23,713	28.4	81,605
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	7,817	8,461	643	8.2	7,829
2. 資本剰余金	7,955	8,598	643	8.1	7,967
3. 利益剰余金	8,276	15,411	7,135	86.2	11,811
4. 自己株式	△1	△821	△820	48,212.6	△1
株主資本合計	24,047	31,649	7,601	31.6	27,607
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証 券評価差額金	47	△8	△56	—	56
評価・換算差額等合 計	47	△8	△56	—	56
III 新株予約権	—	22	22	—	7
IV 少数株主持分	3,536	12,934	9,397	265.7	9,723
純資産合計	27,632	44,597	16,965	61.4	37,394
負債、純資産合計	111,219	151,898	40,678	36.6	119,000

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年12月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	16,540	20,492	3,952	23.9	27,441
II 売上原価	6,926	9,106	2,179	31.5	9,584
売上総利益	9,613	11,386	1,773	18.4	17,857
III 販売費及び一般管理費	3,802	4,171	369	9.7	5,928
営業利益	5,810	7,215	1,404	24.2	11,928
IV 営業外収益	221	87	△134	△60.7	192
V 営業外費用	1,155	1,796	641	55.5	1,525
経常利益	4,877	5,505	628	12.9	10,595
VI 特別利益	240	923	683	283.6	385
VII 特別損失	26	57	31	120.5	99
匿名組合損益分配前 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	5,092	6,371	1,279	25.1	10,881
匿名組合損益分配額	28	27	0	3.3	37
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	5,063	6,344	1,280	25.3	10,844
法人税、住民税及び 事業税	2,356	2,652	296	12.6	5,439
法人税等調整額	△65	142	207	—	△798
少数株主利益又は少 数株主損失(△)	△350	△550	△199	57.0	△456
四半期(当期) 純利 益	3,123	4,099	976	31.3	6,659

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	5,063	6,344	10,844
2. 減価償却費	186	240	258
3. 長期前払費用償却額	14	120	76
4. 有形固定資産売却益	—	△6	△144
5. 固定資産除却損	26	15	26
6. のれん償却額	100	81	128
7. 持分法による投資損益	△107	329	△72
8. 匿名組合分配損益	△416	△157	△3,327
9. 投資有価証券評価損	—	39	73
10. 関係会社株式売却益	△230	△903	△240
11. 貸倒引当金の増加・減少 (△) 額	△7	5	799
12. 賞与引当金の増加額	316	434	85
13. 退職給付引当金の増加・ 減少 (△) 額	△2	△0	△2
14. 受取利息及び受取配当金	△18	△45	△19
15. 支払利息	888	1,213	1,234
16. 売上債権の増加 (△) ・ 減少額	83	△411	△632
17. たな卸資産の増加 (△) ・ 減少額	157	△20,239	△593
18. 買取債権の増加 (△) ・ 減少額	△2,841	△3,320	△644
19. 仕入債務の増加・減少 (△) 額	△13	△9	16
20. その他	114	△73	585
小計	3,315	△16,342	8,448
21. 利息及び配当金の受取額	8	41	16
22. 利息の支払額	△899	△1,238	△1,229
23. 法人税等の支払額	△3,387	△5,823	△4,009
営業活動によるキャッシュ・ フロー	△963	△23,362	3,225



	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△4,477	△8,796	△5,718
2. 有形固定資産の売却による収入	—	1,104	2,117
3. 投資有価証券の取得による支出	△7,873	△3,352	△16,577
4. 関係会社株式の取得による支出	△13	△6,036	△15
5. 関係会社株式の売却による収入	240	1,257	240
6. 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	—	△187
7. 新規連結子会社株式の取得による支出	—	△56	—
8. 匿名組合出資金等の拠出による支出	△5,540	△180	△8,552
9. 匿名組合等からの分配による収入	1,396	889	5,316
10. 貸付けによる支出	△2,263	△5,090	△3,656
11. 貸付金の回収による収入	2,024	1,603	3,019
12. その他	△496	△155	△486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,003	△18,814	△24,501

	前年同四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金純増減額	△5,411	△4,416	△3,524
2. 長期借入による収入	24,995	50,106	29,779
3. 長期借入金の返済による支出	△8,083	△16,856	△17,307
4. 社債の発行による収入	12,323	—	12,323
5. 社債の償還による支出	△724	△1,089	△724
6. 株式の発行による収入	5	1,262	28
7. 自己株式の取得による支出	—	△820	—
8. 配当金の支払額	△265	△502	△266
9. 少数株主からの払込による収入	3,965	5,043	10,244
10. 少数株主への分配による支出	—	△1,276	—
11. その他	△155	△5	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,647	31,444	30,397
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額	8,680	△10,732	9,121
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	8,362	17,833	8,362
Ⅵ 新規連結に伴う現金及び現金同等物の期首残高	347	—	349
Ⅶ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	17,390	7,100	17,833

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年12月期第3四半期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ントバンキン グ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	11,545	2,437	3,335	17,319	(778)	16,540
営業費用	8,080	684	1,760	10,525	203	10,729
営業利益	3,465	1,753	1,574	6,793	(982)	5,810

当四半期 (平成20年12月期第3四半期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ントバンキン グ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	14,868	1,806	4,540	21,215	(722)	20,492
営業費用	9,953	651	1,058	11,663	1,614	13,277
営業利益	4,914	1,155	3,482	9,552	(2,337)	7,215

(参考) 前期 (平成19年12月期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ントバンキン グ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	16,054	8,064	4,331	28,449	(1,007)	27,441
営業費用	11,205	1,363	2,458	15,027	486	15,513
営業利益	4,848	6,700	1,873	13,422	(1,493)	11,928

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期 (自平成19年1月1日至平成19年9月30日) 及び当第3四半期 (自平成20年1月1日至平成20年9月30日) において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。